

事業計画書

事業名	「おいでよ沼津」実行委員会
場所	沼津市 仲見世商店街 地内
実施予定期間	平成 29年 7月 1日 ~ 平成 29年 3月 中旬まで
日程	実施項目・作業項目
	<p><タイトル> 「おいでよ沼津」二期 文化祭</p> <p>キャッチフレーズ “ブーム”を“文化”にする“文化祭”やるよ。</p> <p><イベントの内容> ステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご当地アイドルによる歌・踊り MI-Ⅱ・Pixie ● 有志による音楽ステージ ● 声優さんによるトークショー ● DJステージパフォーマンス ● スクールアイドルになりたい（現役高校生アイドル部や小中学生でアイドルになりたい方・お年寄りアニメライブなどを集めたステージパフォーマンス） <p>野外</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各部活（浦の星写真部）の展示および文化祭イベント ● 露天販売（軽トラック販売） ● アーティスト物販（閉店シャッター前を利用する） ● フリーマーケット（閉店シャッター前を利用する） <p>ナイトイベント（照明利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光塗料による寄せ書き（押しノートのようなもの） ● みんなで作る光の創作（照明を消したときに出来る文字やイラスト） ● 等身大パネルによる沼津の良いところ写真展示 <p>市外から多くの人に来ていただいて、楽しい沼津・また来たい沼津・住みたい沼津に変えるための仕組みづくり一貫にします。</p> <p><実施計画></p> <p>H29/6/1 おいでよ沼津実行委員会構築</p> <p>H29/6/1 ツイッター発信開始 スタッフ招集開始（現在登録スタッフ約10名）</p> <p>H29/6/5（月曜日）第一回定例会 ラクーン3Fを予定 毎週月曜日 19:00~定例会予定</p> <p>H29/7/6（土曜日）全スタッフ顔あわせ</p> <p>H29/9月 中旬までにチラシ作成</p> <p>H29/9月 末までに広報・報道などで告知</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配置図の作成 ~7月中 ・ イベント会場設備（借入準備） ~9月まで ・ 出演者募集 ~9月まで ・ 消防署書類手配 9月中

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署（道路使用許可申請）9月中旬 ・ 携帯アンケート作成 開催日まで 結果を Web 公開できるようにする
事業効果	<p><効果の確認></p> <p>▼携帯アンケートによる把握… イベント全体についてのアンケートを集計します、将来的な改善点を見つけるためにもこのリサーチは欠かせないものとしてデータを取りたいと考えております。</p> <p>▼来場者数カウント… 前回来場者のカウントはしなかったものの twitter トレンド入りを果たしています。今回はその数字を客観的に見える形にすることがひとつの目的になります。</p> <p>▼ライトダウンイベントの参加人数… 今回のメインイベントともいえる催しです。シャッター街になった時間帯の商店街にどれだけの参加者が集まるかの調査になります。今回の規模感では総来場者 1000 人程度を想定して、少なくとも 20~500 人は見越しての企画となります。</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>アニメ等のサブカルチャーを通して地域の活性化につなげたい。</p> <p>イベント、ひいてはその波状効果で商店街の営業時間や空き店舗の活用をし、駅前から商店街への導線を作ることで街づくり促進に寄与する。</p> <p>更にプロモーション用キャラクターを立てることで地域のキャッチアップにもつなげたい。</p>
発展性	<p>アニメ二期開始のタイミングでファンを呼び込み、外部の観光客から見た沼津の魅力を取り入れて取り入れる事で街づくりの発展に活かしたい。</p> <p>そのためにも商店街の夜間帯の営業時間延長を促し、客の滞在時間を増やしていく中で沼津の魅力を伝え、住みたい・定職したい人を増やしたい。</p> <p>同時に世代交代の過渡期にある商店街の橋渡しの役割も担いたい。</p> <p>※イベントスタッフ側の若者の活躍の機会創出も兼ねる。</p>
地域性	<p>商店街の全天候型、音響設備の施設を活かした新たな活用法の提案。</p> <p>17:00 にお店が閉まる現状を逆手に取り、シャッター街時間を利用した時間と場所の資源活用を目指す。</p> <p>イベント開催中は SNS によるリアルタイムな全国規模の宣伝をツイッターのハッシュタグを活用しながらトレンド入りを目指し話題性を発信する。</p> <p>来場者アンケートの活用も視野にいれ、データを集計する事で街づくりそのもののヘフィードバックしていきたい。</p>

<p>必要性</p>	<p>アニメ二期開始のタイミングを活かした町おこしの起爆剤として開催し、夜間の沼津の盛り上げを発信することで外部から集客をしたい。</p> <p>加えてニーズというよりウォンツに近く、潜在的な需要という意味では、アニメファンが第一ターゲットになる。宿泊者の夜間の暇つぶし、内浦から日帰りの観光客たちの夜間の溜まり場の需要は一定数存在し、その受け皿としての機能を担いたい。</p> <p>その延長としてまた来たい沼津から住みたい沼津に変えていきたい。</p>
<p>先導性</p>	<p>夜間帯の資源活用かつ来場者参加型イベントにすることで時間と達成感を共有する。更にイベントを記録に残し、それらを沼津から SNS で発信していく。加えて夜間に商店街でイベントを開催している事自体を認知してもらう。</p>
<p>継続性</p>	<p>年2回「おいでよ沼津」を実施していくことで継続性を図る。</p> <p>本件を起爆剤として、仲見世商店街でアフターファイブイベントを隔週の土日の夜間帯に開催したい。同時にその時間帯の雇用の創出までを視野に入れたい。それにより商店街の営業時間の拡大を常態化するような流れに持ち込みたい。</p> <p>それら予算がかかる祭りごとを事業化（合同会社の設立）することで街づくりに貢献しより継続を強固にしていく考えです。</p> <p>アニメがいつか下火になることは当然のことです。下火になったから衰退するのではなくて先見を考えるためにも事業化が必要と考えます。</p> <p>具体的には、 アニメを通して自然にできた各サークルの後押し役として「おい沼」を学校に見立てそれらの〇〇部を応援することで沼津の魅力を最大に引き出す役割を担います。 アニメファンから沼津ファンに変えていくための事業を成立させていきたい考えです。</p> <p>そして県外から来て沼津で作りはじめた、これらのサークル活動を応援しながら新たなサークルづくりを支援していくことで「来たい沼津」に変えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浦の星写真部 ● 手芸部 ● 工芸部 ● ゲートボール部 ● 浦の星カレー部 ● 浦の星郷土研究部 ● 浦の星 さんぽ部 ● 浦の星 リクリエーション部 <p>がアニメを通して沼津に集まるメンバーで自然にできた「沼津サークル」です。</p> <p>7月から10月「おいでよ沼津」2期文化祭の実施。 それ以降11月から3月までの活動として各サークル応援をするとともに、ここ沼津に住みたい人の移住・定住の促進をします。 それらの取り組みは、空き店舗対策につながると考えます。 一方的な発信情報でなく、沼津に来たい人たちの目的を繋ぐ事業です。 沼津に住みたい人の職業紹介・空き家探し・寮完備の仕事探시를目的に沿う場所にアニメを知るファンだからできることでアニメを知らない人は、この目的取り組みが難しいと考えます。</p> <p>それには情報共有が必要です。潜在的にいる「アニメファン」から「沼津ファン」へ更に「移住組」への取り組み事業を事業化します。そこにも新たな雇用を生み出す考えです。</p>